

2020年2月6日

リコー、米国 IDC 社の高速インクジェットプリンターの評価レポートで「リーダー」を獲得 ～技術革新や顧客ニーズへの対応力、普及実績で評価～

株式会社リコー（社長執行役員：山下良則）は、米国の IT 専門調査会社 IDC が発行した最新の調査報告書「IDC MarketScape: Worldwide High-Speed Inkjet Press 2019-2020 Vendor Assessment」(高速インクジェットプリンターの評価レポート)*1 で、世界的な「リーダー」企業として評価されました。同報告書の調査対象は、IDC が選定したリコーを含む 8 ベンダーと、全世界の地域としています。

リコーは、カスタマーサクセスに貢献するための支援体制や、継続的な技術革新や顧客からのフィードバックを確実に製品に反映する開発プロセスが評価されました。こうした取り組みにより、幅広いコート紙に高速印刷を可能にするリコーの次世代インクや、乾燥工程で発生するしわを抑制し、印刷の表現性と生産性を高める新ドライヤーを搭載した高速インクジェットプリンター「RICOH Pro VC70000」を開発し提供しています。また、販売後は故障の修理に留まらず、リコーの技術者、エンジニア、マネージャーから構成された専任サービスチームによる継続的な提案やトレーニングサービス、SaaS サービスを提供することでお客様との協力関係を構築しています。

リコーは今後も、市場の変化やお客様固有のニーズを捉えながら課題解決を図ることで、お客様の長期的な成長に向けた支援をしてまいります。

*1: “IDC MarketScape: Worldwide Security Solutions and Services Hardcopy 2019-2020 Vendor Assessment,” doc #US44911119, December 2019 <https://www.idc.com/getdoc.jsp?containerId=US45705519>

■IDC MarketScape について

IDC MarketScape は、特定市場における ICT サプライヤーの競争力の適応度を把握できるベンダー分析モデルです。調査方法には、定量・定性的な基準に基づいた厳密な採点手法を用いています。調査結果は当該市場における各ベンダーの位置付けを示す 1 つのグラフによって表されます。

* 記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

｜ リコーグループについて ｜

リコーグループは、オフィス向け画像機器を中心とした製品とサービス・ソリューション、プロダクションプリンティング、産業用製品、デジタルカメラなどを世界約200の国と地域で提供しています(2018年3月期リコーグループ連結売上は2兆633億円)。

創業以来80年以上にわたり、高い技術力、際立った顧客サービスの提供と、持続可能な社会の実現にむけて積極的な取り組みを行っています。

[EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES](#) - 人々の“はたらく“をよりスマートに。リコーグループは、さまざまなワークプレイスの変革をテクノロジーとサービスのイノベーションでお客様とともに実現します。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。 <http://jp.ricoh.com/>